



平成25年度第1回 技術委員会資料

オープンデータ流通推進コンソーシアム 「情報流通連携基盤外部仕様書」 (平成25年度版) 作成案

2013.12.04

オープンデータ流通推進コンソーシアム 事務局

「情報流通連携基盤外部仕様書」の位置づけ

■ 背景・目的

- ▶ さまざまなデータを情報通信ネットワークを経由して提供可能
 - ◇文書や統計に関するデータ
 - ◇センサによって計測されたデータ など
- ▶ 機械判読に適したデータ形式+二次利用が可能な利用ルール（ライセンス）により公開し、流通させようとする、オープンデータ化の動きの広がり



- ▶ これら各種のオープンデータを登録・利用するアプリケーションやサーバの構築方法を示すことにより、これらの構築を容易にすることが本書の目的

「情報流通連携基盤外部仕様書」の精査案

■ ボキャブラリ

- ▶ 平成24年度のボキャブラリの精査と仕様書への追加
 - ◇ボキャブラリの体系化を検討
- ▶ IMIとの連携を検討し、仕様書への追加

■ API

- ▶ セキュリティ関連事項の追記
 - ◇OpenID ConnectやOAuth2.0等、既存の認証・認可方法が流通している。
 - ◇これらを利用した認証・認可・アクセス制限の実現方法を検討し、Security Management CommandのAPIを精査する。
- ▶ Linked Data Platformとの整合性を検証
 - ◇Linked Data Platform: W3Cが定める、Linked Dataアーキテクチャに基づくサーバ・クライアント構築のBest Practicesを記した規約書（Working Draft）。
- ▶ JSON形式のデータ形式見直し
 - ◇RDF/JSON形式からJSON-LD形式に移行

■ 普及のための周辺ツール整備方法を別冊として追記

- ◇データ利用者・アプリケーション開発者向けツール、マニュアル等
 - ◆ ライブラリ・ミドルウェアなど
- ◇データホルダ向けツール、マニュアル等
 - ◆ データ編集・変換ソフトウェアなど
- ◇これらはデータの分野によっても異なる可能性があるので、25年度実証と連携して進める。

(参考) RDF/JSON形式とJSON-LD形式

■ RDF/JSON形式(*1)

- ▶ W3C Working Group Note
- ▶ 以下のような形でRDF Tripleを表現する (prefix表現はできない)
 - ◇ {Subject: {Predicate: [Object ...] } }
- ▶ 下図に示すTripleの表現例

```
{ "urn:ucode:_0000...0001": {  
  "http://purl.org/dc/elements/1.1/title": [  
    { "type": "literal",  
      "value": "Open Data Promotion Consortium" } ] }  
}
```

■ JSON-LD形式(*2)

- ▶ W3C Proposed Recommendation
- ▶ @context, @typeなどのキーワードを利用して、URIを簡略表記できる。
- ▶ 下図に示すTripleの表現例

```
{ "@context": {  
  "dc": "http://purl.org/dc/elements/1.1/" },  
  "@id": "urn:ucode:_0000...0001",  
  "dc:title": "Open Data Promotion Consortium" }
```



(urn:ucode:_0000...0001で識別されるものの名前は「Open Data Promotion Consortium」である)

(*1) RDF 1.1 JSON Alternate Serialization (RDF/JSON). <http://www.w3.org/TR/rdf-json/>

(*2) JSON-LD 1.0. <http://www.w3.org/TR/json-ld/>



OPEN DATA

オープンデータ流通推進コンソーシアム